

漫画家に仕事を依頼する時に気をつけたい7つのありがちな失敗

漫画家に仕事を依頼したことがない場合、あるいは以前採用したコンサルタントとうまくいかなかった経験がある場合、おそらく不安をお持ちかと思います。工程はちゃんと進行するか、漫画家へどんな質問をすればいいか、または企画成功のためにご自身に何が必要か——。ご安心ください。プロジェクトに適した漫画家を選び、予算を最大限に活かし、読者を惹きつけて止まない漫画を企画するポイントを、以下にご紹介いたします。

まずは下記の7つのありがちな失敗を確認しましょう。

1. 企画にそぐわない漫画

ほとんどの漫画家は幅広く絵柄を変えられますが、どうしても企画とずれてしまう場合もあります。漫画家に対応できるか判断するためには、まずはご自身の企画でどのような漫画を求めているか、明確なイメージが必要です。

たとえば、広告用の漫画の場合、求められるのがわずか数コマ分であっても、絵の内容が明快で、かつ読者の目を惹かねばなりません。目立ちながら目障りでないことが、必須条件となります。

2. 曖昧な指示

漫画家は台本を読み、絵で彩る方法は知っていますが、はっきりした指示があることが大前提です。「不明瞭な指示を与える」または「まったく指示しない」ということには気をつけましょう。漫画家に対しては、企画している漫画の使用目的を知らせることが必要です。

先ほどの広告の例でお話すると、何のためにその広告を出しているかは必ず漫画家にお伝え下さい。漫画家に提供できる情報の全てが役立ちます。紙に書いた数少ない言葉のみの指示では、お客様の意図は伝わらないでしょう。

3. コストだけで判断する

漫画の価格帯は様々です。予算に大きな制限のある場合などは、一番安い方法を選んでしまいがちです。しかし気をつけましょう。全ての漫画家が同じレベルのクオリティを提供しているわけではありません。品質の確保にはある程度のお金が必要です。出費を最大限に活用するためにも事前に予算を立てるといいでしょう。

4. 家族または友人に依頼する

もう一つのよくある落とし穴は、友人や家族を使えば節約になるだろうと思うことです。結局、仕事の出来具合、スケジュール管理、詳細な配慮がかけられていることにながかりし、不満が生じます。場合によっては、一旦動き出した企画を修正または完成させるために他の人（プロの漫画家）に依頼せざるを得なくなります。あまり愉快的な状況とは言えません。

5. 宿題をやらない

漫画家を選ぶ時にはいくつかの情報を検討しなければなりません。時間のかかる作業ですが、最後にはそこで差がつきます。おのおのの企画に必要とされる漫画家を見極めるには、王道のセオリーはありません。

例えばフリーランスの情報サイトは各漫画家に評価点を付けています。この評価点は必ずしも重要なものではありません。実は全く当てにならない可能性もあります。高い評価点数の漫画家が今回の企画に適した人材でなく、デビューしたてで点数の高くない別の漫画家が適任、という場合もあり得ます。漫画家を選ぶ時には、評価点や、サンプル、お客様の声など、あらゆる情報を検討しましょう。

6. 大きい仕事を一気に任せる

もしヨガについての 300 ページの漫画が必要だったら、漫画家にその仕事をどんどんこなして欲しくなるでしょう。しかしその仕事を初めて組む漫画家に一気に任せないでください。初めての漫画家に大きすぎる案件を依頼するのは良くない間違いです。

そのかわりに、小さ目の案件、または分割した仕事にしましょう。例えば、まずは 10 ページだけ依頼してみてください。一旦それを終わらせた段階で、もっと大きな仕事を頼みます。相手の漫画家をよく知って信頼できるまで、大きな仕事を任せずに待ちましょう。

7. ご自身の目的を知らない

一番大きな失敗ははっきりした目的を持たないまま企画に取り組むことです。漫画家への依頼を検討する前に、ご自身の漫画で何を成し遂げたいか、計画や方向性にどうやって合わせるか、はっきり定めることが必要です。

魅力的な漫画を企画し、ビジネスで成功するために、この特別ガイド「漫画家に仕事を依頼する時に気をつけたい 7 つのありがちな失敗」が価値のあるツールとして役立つことを心より願っております。さらなる内容向上のため、お気軽にメールにてご感想を頂ければ幸いです。私たちが提供します「漫画即席ソリューション」というパッケージとその他のデザインサービスの詳細については下記の URL をご参照ください。

<http://www.wwstudio.jp>



皆様方のプロジェクトが成功しますように！
よろしくお願いたします。



モクタン・アンジェロ
クリエイティブ・ディレクター
Wonderworld Studio